

swim 水夢

January 2013

Vol.38

<http://www.yamaha-motor.jp/pool/>

幼稚園・保育園 最新プール事例

特集 幼児と先生のための
快適なプール環境を考える

● ヤマハ幼児シリーズ プールラインナップ



[ユニットプールきらきら]

敷地を有効利用できる組み立て式プール。
オフシーズンはコンパクトに収納・保管。



[ワイワイプール]

常設タイプの据え置き型プール。
使いやすさと安心感を高める工夫がいっぱいです。



[ワイワイプールワイド]

ワイワイプールの幅をさらに広げた大人数対応のワイドタイプ。設置スペースや利用する園児の数に合わせてぴったりサイズを選んでいただけます。



[児童用プール]

埋設型の児童用プール。
使用目的や人数に応じてプールサイズ、水深(50cm 70cmの2タイプ)を選択できます。

● サポートアイテム



スイムフレンド(循環式ろ過機)



シャワーセット



アスレチックライダー



洗顔ユニット



プールサイドシェルター



シャワーユニット(スリム)

営業所のご案内 プールのことならお気軽に

ヤマハ発動機株式会社 プール事業推進部 TEL 053-594-6512 〒431-0302 静岡県湖西市新居町新居3078

東京営業所

販売課 TEL.03-3454-2434
〒108-0023 東京都港区芝浦3-5-39 田町イーストヴィングビル3F
東北販売課 TEL.022-301-7102
〒981-0933 宮城県仙台市青葉区柏木1-2-45 フォレスト仙台ビル3F
中部販売課 TEL.052-218-4366
〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦1-17-26 ラウンドテラス伏見4F

西日本営業所

販売課 TEL.06-6268-0520
〒541-0052 大阪府大阪市中央区安土町3-4-16 船場オーセンビル4F
九州販売課 TEL.092-472-7815
〒812-0007 福岡県福岡市博多区東比恵3-13-10 スピリッツ福岡D

<http://www.yamaha-motor.jp/pool/>



THE WATER POOL MAGAZINE[季刊]誌・水夢]Vol.38

2013年1月発行

発行 ヤマハ発動機株式会社プール事業推進部

CONTENTS

- 1 伊勢原白百合幼稚園 インタビュー
- 3 バディスポーツ幼稚園 インタビュー
- 5 最新事例紹介
- 7 幼児と先生のための快適なプール環境を考える その1
- 9 幼児と先生のための快適なプール環境を考える その2

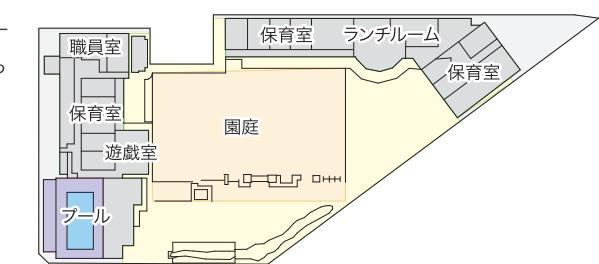
幼児教育の本質を追求した 温水プールの導入

●●● 幼児保育の可能性を地域の要望とともに検証

「伊勢原白百合幼稚園」は、同じ敷地内に「リス ブラン保育園」を併設する神奈川県で初めて幼保一元化の公認を受けた幼児教育施設です。園内には、十分な広さのサッカー場兼グラウンドや、大型遊具、水草やメダカなどが棲む小川のあるビオトープもつくられ、園児たちをのびのびと育む環境が整備されています。



幼稚園棟の1階にあるプールは、長さ15m×幅7mと、小学生でも使用できる十分な大きさがあります。水深を0m～1.2mまで変えられる可動床設備も備えられ、保育園・幼稚園の子どもたちだけでなく、同学園が運営する小学生学童クラブの活動にも利用されています。



●●● 調査に基づいた「幼児教育」を目指し温水プールを設置

昭和29年に開園した「伊勢原白百合幼稚園」は、昭和62年に現在の所在地である伊勢原市池端に新築移転した際、可動床の温水プールを採用しました。当時地元の保護者を対象に実施したアンケート調査で、希望するスポーツ教育の一番が「プールでの水泳指導」でした。また「給食」や「バスによる送迎」と並んで、80%が「温水プール」を必要と解答し、水泳指導に対する保護者の期待の大きさが十分に検証されました。

「幼児教育の学園運営についてしっかりと結果を出すこと、そして喜んでいただけることを考えた結果として可動床の温水プールを設置しました。」

コンクリート製の初代温水プールは、経年の老朽化に伴いヤマハFRPプールへとリニューアルしました。新プールは旧プールの構造体を基礎とする形で設置され、メンテナンスを容易にするため点検ピットも設けられました。プールサイドには床暖房も装備され、1年を通じて子どもたちが安心して利用できるプール環境が整えられています。また、通年水のあるプールは防火水槽としての役割も担っています。



長塚 美次 理事長
学校法人伊勢原白百合学園

●●● 保育生活にとけ込むプール、水をとおして養われる心と体の健康

温水プール棟は、幼稚園側の建物中央を伸びる廊下のつきあたりに配置されています。教室からはわずか数メートルの近さにあり、プール内の様子は大きな窓とガラス製のドアによって教室側からも見ることができます。園児たちにとっていかにプールが日常的な施設であるか、レイアウトからも伺い知ることができます。

「こうした環境で育った子どもたちが、成人になった時、プールはより身近で親しみやすいスポーツになると考えられます。また、水泳技術を会得するだけでなく、水に入る事の楽しさ、そしてその危険性など、多くのことが水をとおした体験の中で学べることも間違いありません。」



広がりある
豊かな教育で、たくま
しい子ども達を育てる
総合施設

母体である学校法人伊勢原白百合学園は、幼稚園と保育園の運営だけではなく就園前の2歳児保育や、学童保育、0～2歳児と3歳児以上の一時保育や預かり保育など、さまざまなニーズに応えながら、保護者と協力して子育てをするための「地域の総合的な子育てセンター」の役割を担っています。

「日常生活の中で子どもたちが自ら危険を察知できる感覚が衰えてきています。保護者が生活の中で子どもを危険なことから遠ざける傾向もありますし、外の環境も子どもたちが自由に安心して遊べる状況にありません。私たちは、道徳・スポーツの教育で危ないからやらない、やれないということもできるだけ安全に行えるように教えたいし、危険から自らの身を守ることができる、健やかでたくましい子どもを育みたいと考えています。」

保護者から大切な子どもたちを預かる施設としての姿勢が、設備やカリキュラムに表れています。可動床の温水プールはまさに、その姿勢を実践する施設です。そこには社会に求められ、地域の人々に喜ばれること、そして運営する学校法人伊勢原白百合学園の子どもたちへの深い愛情が込められているのです。

温水プールで水泳の基礎を 楽しくしっかり学ぶ

●●● 運動の楽しさと、子どもの可能性を広げる成長をサポート

「バディスポーツ幼稚園」は、幼稚園・スポーツクラブ・野外活動教室・スイミングクラブの機能を持った幼児教育機関として関東エリア7地区に展開し、約2,000名の園児が通っています。バディスポーツクラブを系列に持ち「健康で明るく伸びやかな子どもをスポーツと保育を通して育成する」を理念に事業を展開しています。



温水プールがある施設としては世田谷校に次いで、2施設目となる八王子東校は、2010年2月にオープンしました。

●●● 水泳の基礎をしっかりと学び元気な身体をつくる温水プール

施設の1階に設けられた温水プールは、長さ10m×幅3m、水深70cmです。

「小学校の低学年の水泳はプールの短辺を泳ぐことからはじめますが、当園ではそれを想定し、10mをいかに丁寧に泳ぐかを課題にしています。」

また、小学校の水泳の授業で距離を長く泳ぐことが重視される傾向について

「経験も少なく身体的にも小さな子どもたちにとって、恐怖心を感じる遠い距離を目標にするのではなく、手が届く先までポイントを押さえしっかりと技術で泳がせることが何より重要と考えています。」



●●● 一般利用やJr.育成にも対応可能なスポーツ環境

八王子東校の温水プールには、はるひ野校（神奈川県川崎市麻生区）の園児たちも送迎バスで通い、水泳授業を受けています。父兄にも水泳授業の重要性は高く評価され、園児たちも年間を通してのプール授業を楽しみにしています。

幼稚園の時間外では、体育館をフットサルなどで的一般への貸し出しを行っておりはるひ野校では6時以降に日テレベレーザのJr.ユース・メニーナの練習も行われています。

こうした一般やプロスポーツ関係の施設利用を可能とする中で、施設設備は最高の環境であることを目指し、選ばれています。温水プール施設も、その目的に合わせて安全性や維持管理にも配慮し、ヤマハFRPプールが採用されています。

「バディスポーツ幼稚園では、平泳ぎの元日本記録保持者で、映画『ウォーターボーイズ』の水泳監修も担当された、不破央氏に子供たちの水泳指導をお願いしています。国内外で活躍され、水泳やプールをよく知る不破氏にも、ヤマハプールはとても気に入っています。」



岸 政智 副園長
バディスポーツ幼稚園 八王子東校

●●● 保護者の声やグループ全体の連携を取り入れた柔軟な運営

30年以上の経験から打ち出されたデータや、7施設が連携した最新の情報交換により、常に子どもに最適な保育環境やメニューを探求し、園内の授業に活かしています。また、同園の卒園児には、プロサッカー選手やプロスポーツ選手の子どもさんも少なく無いそうです。

「バディスポーツ幼稚園は、認可外の保育施設ではありますが、きめ細かなサービスの提供や、独自のカリキュラムをタイムリーに取り入れていくことなど、認可外だからこそできることがたくさんあります。また、幼稚期間は、年齢や月齢、生活環境により、発育発達の状況がそれぞれ異なってきます。豊富な経験や蓄積されたデータを基に、一人一人に丁寧に、そして柔軟に対応できるように心がけています。また、それが私達の大きな強みでもあります。」



プールで体験する
「みんなで取り組み、
みんなで達成すること」

小さな子どもたちが安心して遊べる環境が少ない現在社会。保護者の皆さんは子どもたちに、幼稚園の他にスイミングスクールや、サッカースクールにも通わせたいという家庭も多いですよね。そして何より子どもたちは、友だちと自由に楽しく身体を動かしたいという気持ちがあります。

バディスポーツ幼稚園は、そうしたご家庭が抱える幼児教育の課題に、柔軟かつ幅広く対応できるよう心掛けています。7合目までの富士登山を取り入れたサマーキャンプ、グループ全体でのスポーツフェスタなど、体力づくりの基盤は「みんなでやる」という方針となっています。

温水プールでは「できなかった」「苦手だった」泳ぎを、みんなで一緒に取り組んで、出来るようになります。それが成功体験や自信に繋がり、「やれば出来る」気持ちを芽生えさせます。そして、これが今後、大変重要な役割を担うことになります。

最新事例紹介

注目を浴びる 認定子供園

▶ 聖隸クリストファー大学付属クリストファーこども園

水に親しむ環境で子供たちが成長する



地域のニーズに応えるだけでなく、本大学の教育福祉学科で学ぶ学生に実践の場を提供するために、クリストファーこども園は2011年4月に開設されました。学問的根拠に裏付けられた、質の高い保育・幼児教育を目指しています。

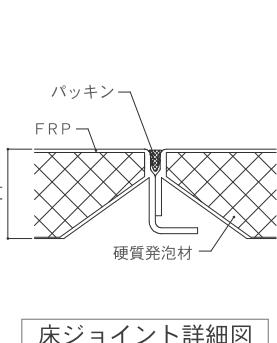
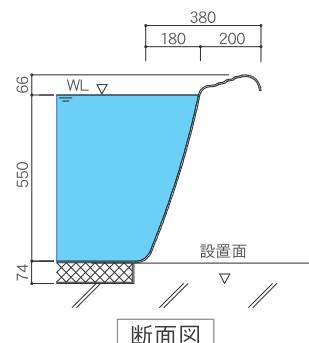
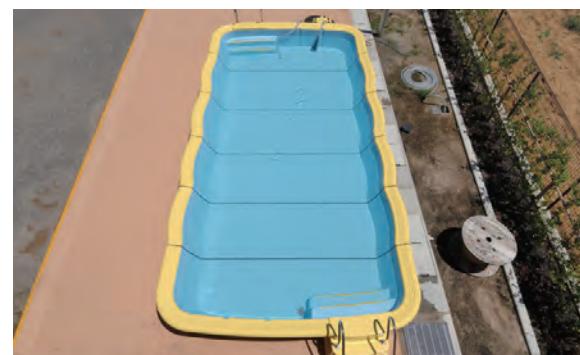
幼児期の子供の心身の発達に、プール教育はかかせないと考えられ、当初から、プールの設置が計画されました。

「人は水中など、非日常的な環境の中で成長することもあります。また、水と親しむことで水のありがたさも知ってほしいと考えています。」

組み立て解体ができるプール

プールは教室に近い園庭に設置されます。シーズン後に園庭を広く使うため、分解して収納ができるユニットプールきらきら（組み立て方式 長さ6m 幅3m 水深 0.55m 2カ所階段仕様）が採用されました。6月下旬から9月上旬まで、毎日午前中に約120名の園児が使っています。

プールでは、ビート板遊び、輪くぐり、ワニさん歩きなど、水に慣れることを基本にした遊びのメニューが採り入れられ、メニューは先生達自らが考えています。子供たちはプール遊びが大好きで、毎日のプールを楽しみにしているそうです。



▶ 浜松学院大学付属愛野こども園

プールで「生きる力」を身につける



2011年4月に開園した愛野こども園。

ここでは長時間預かる子供と、短時間預かる子供が安定した情緒のもと、豊かな園生活を楽しむことができるデイリープログラムを実践しています。

プールは計画段階から設置が要請されていました。こども達の健康づくりと情操教育の一環として約束を守ってプールで遊ぶことを教えています。

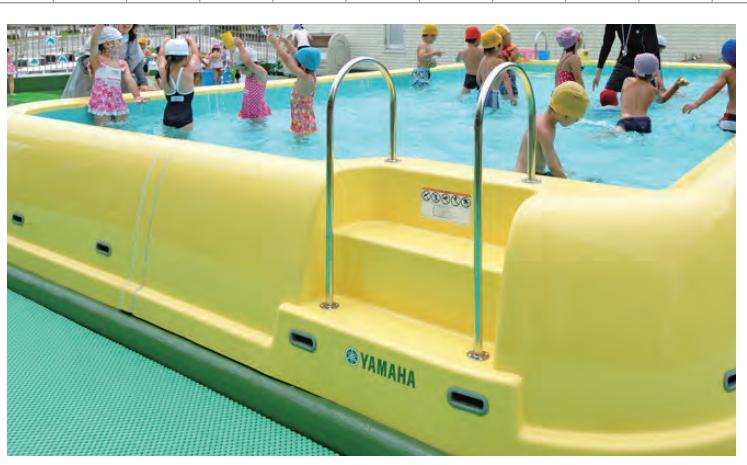
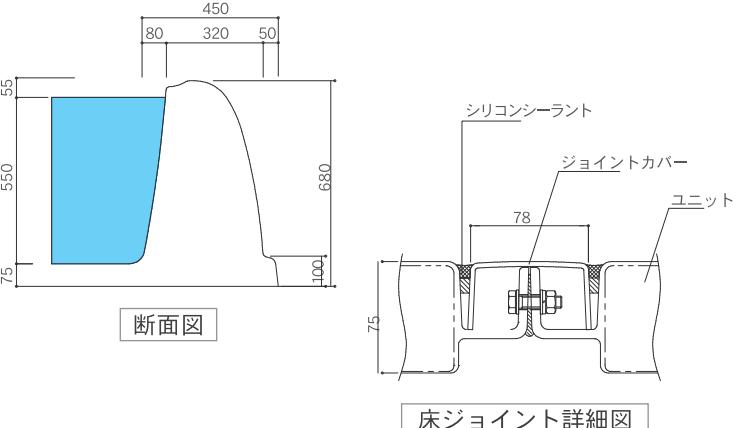
それは、子供たちが“生きる力”的一つを身につけることにも繋がります。

園舎の屋上にプールを設置

プールは、ワイワイプールワイド（長さ8m×幅4.5m）の比較的大型の据え置きプールです。プールは園舎の屋上に設置され、スペースの有効利用が図られています。

「FRPプールはコンクリートや金属に比べると、柔らかで優しい肌触りです。表面が滑らかで、汚れにくく清掃も簡単で衛生的ですね。」

使用期間は7月と8月の2カ月。3歳～5歳の園児が毎日午前中に15分程度プールに入ります。先生同士が子供の気持ちになり、いろいろな場面を想定しながら、子供たちの体と心を育てる指導法を検討しています。



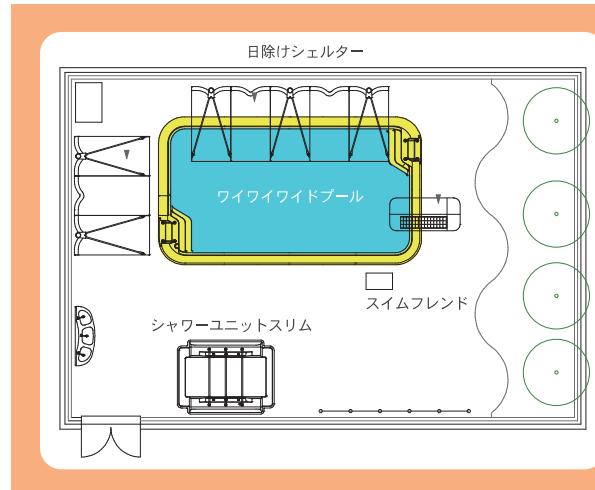
幼児と先生のための 快適なプール環境を考える

安心のプール専用ゾーン

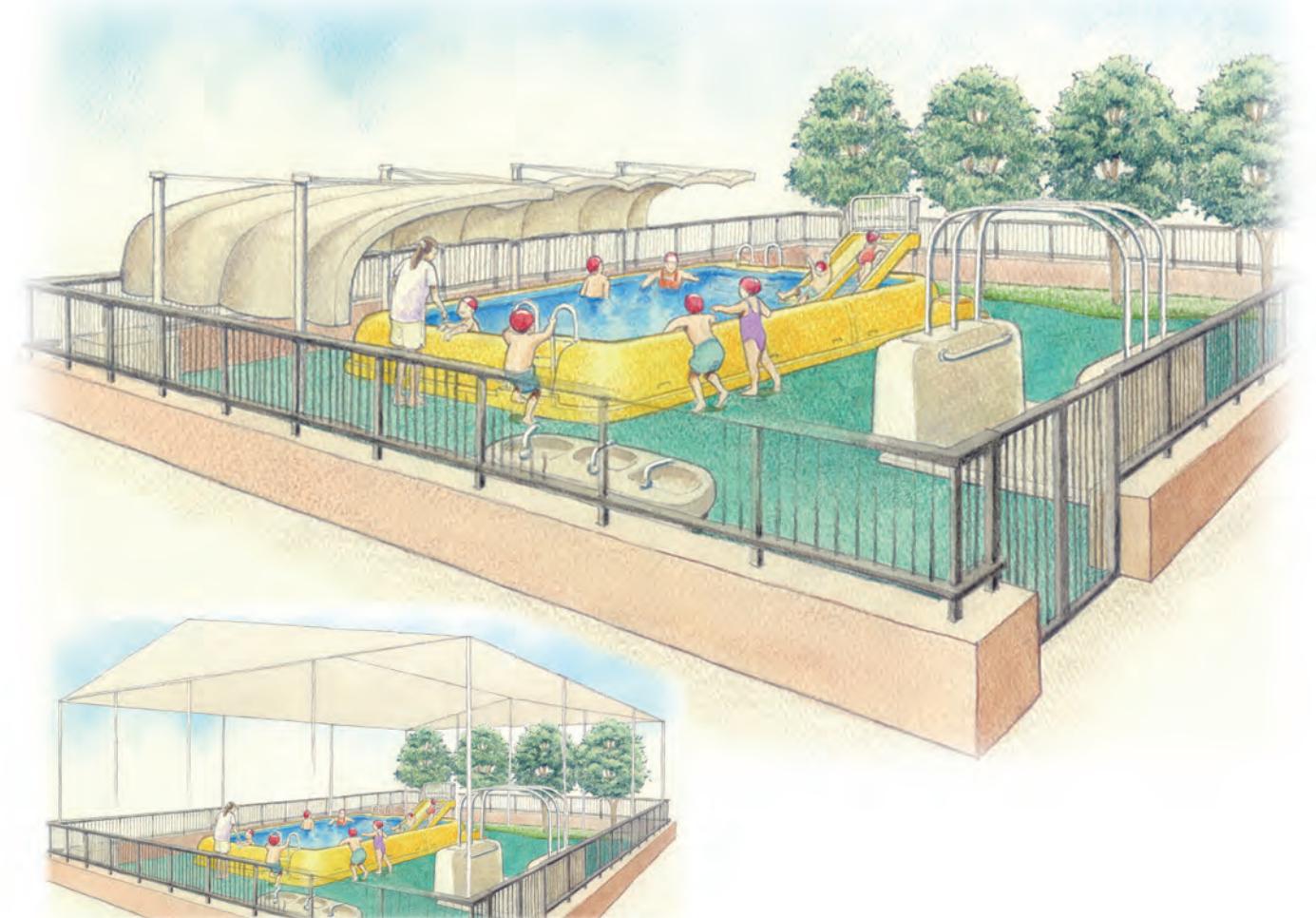
ワイワイプールワイド

ヤマハのワイワイプールワイドを使った計画

… 4.5×8mの例



プールゾーンは、フェンスで囲われた独立空間になっています。その中で、プールに必要な機能が完結できる構成です。日除けシェルターが子供達や先生を紫外線から守るとともに、木陰は子供達に視覚的な安心感も与えます。周囲に側溝を廻したプールサイドは、水はけが良く防滑性シートの効果と相まって転倒などの事故を防ぎます。この空間に屋根をかけると、より長い期間使うこともできます。



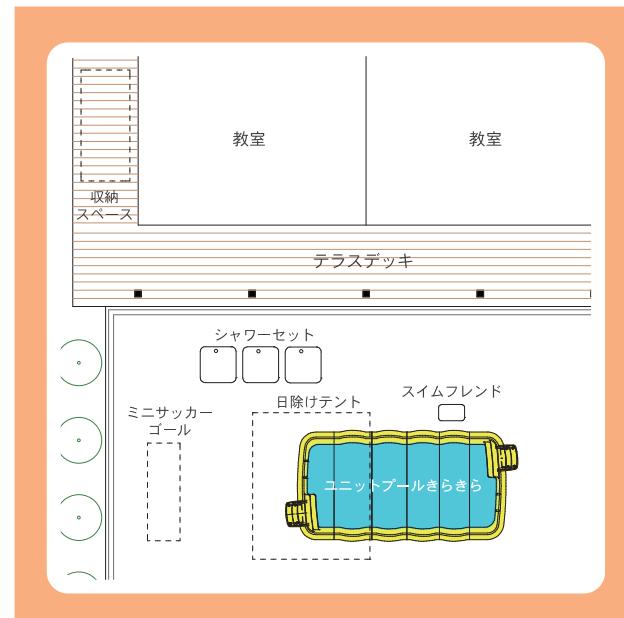
園庭(屋上)の有効利用

ユニットプールきらきら

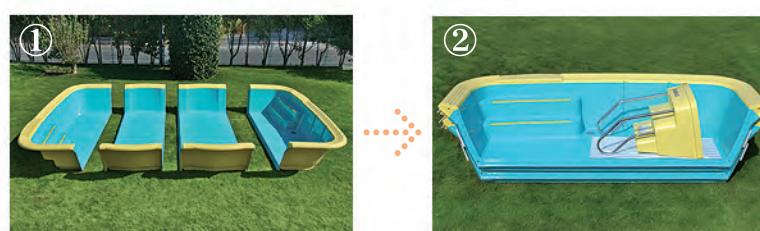


ヤマハのユニットプールきらきらを使った計画

… 3×6型 2力所階段仕様の例



教室・テラスデッキ・プールが繋がり、使いやすい構成になっています。教室からも見えることで子供達に安心感も与えます。屋根のある日除けデッキは子供達を紫外線から守る休憩ゾーンになります。ユニットプールきらきらはもちろん、シャワーセットやスイムフレンドも可動式となっており、シーズンオフには人工芝のミニサッカー場に変わります。夏場だけしか使わないプール空間を有効に使える提案です。



▼収納手順



幼児と先生のための 快適なプール環境を考える

● プールを入れ替える

ヤマハ幼児用プール→ヤマハ幼児用プール



ユニットタイプで軽量のヤマハ幼児用プールシリーズなら、
簡単な工事で新しいプールに入れ替えることができます。



○ 幼児用プールの点検とメンテナンス

子供たちの安全・安心のために、そしてプールを長く使っていただくために

点検

● 接合部の点検

- ？シール材が剥れていないか
- ？パッキンが劣化していないか

● 循環式ろ過機の点検

- ？ポンプやバルブが正常に作動しているか
- ？フィルタは交換しているか

メンテナンス

FRPプール本体

点検・補修

プールジョイント部

パッキンの交換
シール材の打ち替え

ろ過機周辺

フレキシブルホースの交換
バルブの交換（バルブが固くなったり水漏れした場合は、直ぐに交換）
ハッチの修理（緩み、ガタツキの修正）

ろ過機

フィルターカートリッジ交換

定期点検のお問合せ、お申し込みはヤマハ営業所、又は販売店で受け付けております。

